名物分会ファイル22

八王子支部第八分会

会話弾み足出ないほど
明るく楽しい仲間達

【八王子・大工・山田光政通信員】八王子支部第八分会は、元八王子町、二分方町、叶谷町、川町、横川町、大楽寺町を活動地域としています。所属人数は169人で、仲間を大事にする役員を中心に、楽しく組合活動をしています。

分会で一番大きな行事は「住宅デー」です。分会長の会社敷地内で行なっています。子ども向けアトラクションに力を入れています。

昨年は防災訓練（人命救助訓練）をユニック車を使用して行ないました。地元市域にアピールできる企画を常に考えています。

役員と組合員の交流を深める企画として、年2回のボウリング大会を開催。毎回30人前後の参加人数で、とても盛り上がっています。参加者全員に賞品が出るのが毎回の楽しみです。

交流を深めるもう一つの企画が忘年会。分会役員と組合員が本音を言える行事です。つらい拡大行動も、明るい組合員のおかげで、楽しい拡大行動になっています。春一番、春の拡大、秋の拡大、年末拡大と行動日がとても多いのですが、仲間に会えることが楽しいので、拡大センターに集合してしまいます。

拡大行動で分会役員が先頭に立ち、組合員訪問に出たいのですが、会話が盛り上がり、なかなか分会センターを出られないのが悩みの種です。しかし、最近の行動日では若いメンバーが進んで組合員訪問をして拡大につなげています。

これからは全員で、もっと楽しい分会にしていきたい。「ONE TEAM」でガンバロー。

年2回開催するボウリング大会は大盛況

住宅デーは一番大きな行事

自転車保険

高額賠償事故の増加受け
都が加入を義務化へ

【どけん共済会発】自転車による高額賠償事故の増加を受けて、東京都は2020年4月1日から自転車損害賠償保険等の加入を義務化する条例を施行します。

この間の自転車による高額加害事故例では、①男子高校生が昼間の時間帯に、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断していたところ、対向車線を自転車で直進していた24歳の男性会社員に衝突し、男性会社員には言語機能の喪失などの重大な障害が残りました。この事故では9266万円の賠償が命じられました。②11才の男児が夜、歩道と車道の区別のない道路において歩行していた62才の女性と正面衝突し、その女性は、頭の骨を折るなどし、意識が戻らない状態となりました。この事故では、保護者である母親に9521万円の支払い命令が出されました。

このような事案は各地で起こっており、いつ、誰が加害者になっても不思議ではない状況です。

家族含め、年4500円

東京都は、東京都内で自転車を利用する人（都内を自転車で通行する人も）や保護者に、自転車等損害賠償事故に備える保険の加入を義務化します。事業者には、自転車通勤をする従業員に対する自転車損害賠償保険等への加入の有無の確認、確認ができないときの自転車損害賠償保険等への加入に関する情報提供を努力義務化します。なお、業務中の自転車利用は個人賠償責任保険では補償されません。事業者が事業用の賠償責任保険に加入する必要があります。

賠償責任保険に加入しないまま自分が加害者となってしまった場合、個人の財産を売却してでも賠償しなければなりません。逆に、自分が被害者になってしまったとき、加害者に賠償する能力が無ければ、泣き寝入りしなければならないこともありえます。相手への賠償を第一義に、自らの身を守るために自転車保険に加入しましょう。

東京土建の自転車保険は、年間掛金が家族型で4500円、個人型2500円と加入しやすく、自転車事故による補償のほか、自転車以外の交通事故にも対応した保険です。他社にあまり見られない通院補償もあるなど、補償内容が充実しています。

第三者への「賠償に備える」という東京都の条例に合致する、1億円の日常生活賠償補償も付いています。

加入された仲間には、家族も含めていつでも加入・補償内容確認ができるカードの配布も準備しています。

春の拡大月間や分会総会など、あらゆる機会に自転車保険の優位性を広げ、社員やその家族を守るために事業所の仲間にも勧めましょう。

東京都発行の周知用ポスター

どけん自転車保険の補償内容

◆国内の自転車事故の場合（最大補償額）◆

		家族型		個人型
補償対象者		契約者本人＋配偶者	その他の家族	契約者本人
保険金額	死亡・後遺障害	300万円	200万円	100万円
	入院保険金日額	7,000円	4,500円	7,000円
	通院保険金日額	1,200円	500円	1,200円
	手術 入院中に受けた手術の場合	40,000円	30,000円	40,000円
	手術 外来で受けた手術の場合	20,000円	15,000円	20,000円
日常生活賠償補償		1億円		

豊島

跳満賞連発の麻雀大会
渡辺プロの講習も

【豊島・防水・田中承宏通信員】1月19日に麻雀ZOO池袋西口総本店で、第6回目となる麻雀交流大会を開催。20代から70代の組合員16人が楽しく卓を囲み、交流しました。

初心者講習は、渡辺洋香プロを招き、わかりやすく楽しい講習に。参加者からは「難しいけどわかったら面白そう」「早く役を覚えて実践をやってみたい」との感想があり、好評でした。

一般卓では開始と同時に真剣モード。跳満賞（クオカード）が連発し、大いに盛り上がりました。決勝では、予選の上位3人と渡辺プロの4人で対局を行ないました。結果は渡辺プロが圧勝。後ろで見ていた参加者もあまりの強さに驚いていました。今後も定期的に計画していきたいと思います。

初心者を指導する渡辺プロ（左）

西多摩

「鉾杉」500号を祝う
羽村3、5も200号到達

1月12日、西多摩支部は支部会館で「鉾杉500号、武蔵野の森200号、一本杉200号の記念祝賀会」を開催しました。歴代教宣部長をはじめ38人が参加しました。

主催者代表の山口委員長のあいさつに続き、高山教宣部長が機関紙発行継続へ、力強く決意を表明しました。

初代教宣部長の船戸さんの音頭で乾杯し、その後、鉾杉500号のあゆみを上映。

表彰式では全建総連から贈られた鉾杉500号の表彰状が高山教宣部長へ授与され、羽村第3分会と羽村第5分会には支部から記念品を贈呈。市川さん（羽村第3・一本杉担当）と丹野さん（羽村第5・武蔵野の森担当）が感謝の言葉を述べました。

歴代教宣部長からは、10代目の岩崎さんと12代目の原島さんがあいさつ。また元書記の船越さんが教宣部を担当した時の思い出を語りました。

上原本部教宣部長から表彰される高山支部教宣部長（左）